

# 中一国語

## 単語の分類 第三回 用言・体言

---

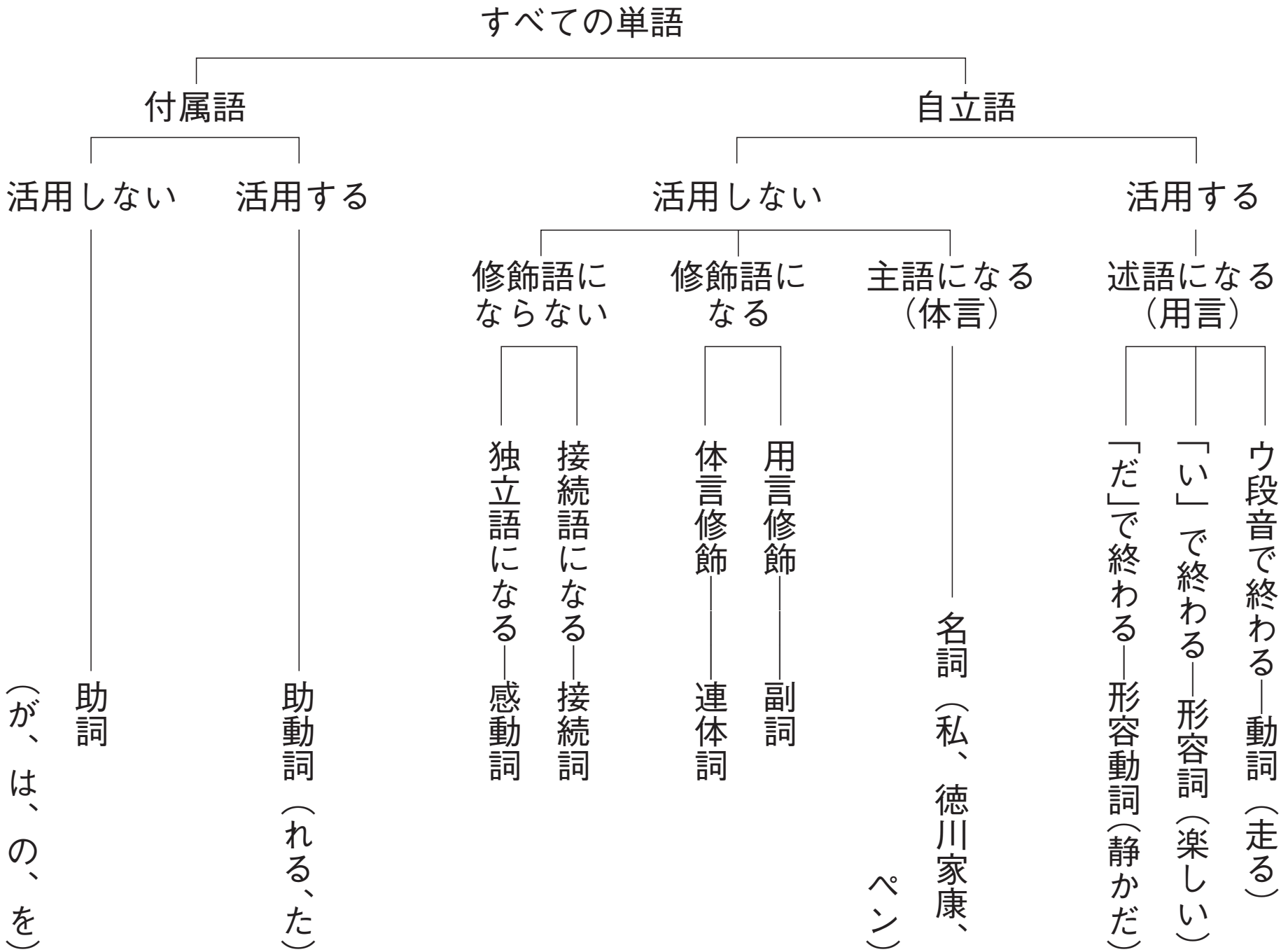
講師：羽場雅希

### ◆ 今日の授業で学ぶこと

- ・ 品詞の分類
- ・ 体言と用言
- ・ 修飾（しよく語） — 被修飾（ひ語） の関係
- ・ 連体修飾語 ・ 連用修飾語

◆ 品詞の分類

※すべての単語は十種類の品詞に分類できる！



## ◆ 体言と用言

- ・体言……活用しない自立語のうち、主語になることのできるもの。  
名詞。

- ・用言……活用する自立語。動詞、形容詞、形容動詞。

## ◆ 修飾（語）―被修飾（語）の関係

二つの文節の一方が修飾語、もう一方が被修飾語になっている関係。

修飾語：文の中で「どのくらい、何を、何に、いつ、どうで、どこから、どこに、どんな、何の」などにあたる文節。他の文節を説明（＝修飾）する。

被修飾語：修飾される文節。

◆ 連体修飾語・連用修飾語  
連体修飾語：体言（名詞）を含む文節<sup>ふく</sup>を  
修飾する修飾語。

（例）

放課後の音楽室

連用修飾語：用言（動詞・形容詞・形容  
動詞）を含む文節を修飾する修飾語。

（例）

合唱曲を練習した

## 【第一問】

次の文の空欄らんに、適切な言葉を漢字  
2字で書き入れなさい。

(1) 名詞のことをへくという。

(2) 動詞、形容詞、形容動詞のことを  
へくという。

【第二問】

名詞、動詞、形容詞、形容動詞の具体例をそれぞれ1つずつ書きなさい。

名詞

（

）

動詞

（

）

形容詞

（

）

形容動詞

（

）

【第三問】

次の語を「体言」と「用言」に分けなさい。

1. 織田信長
2. 楽しい
3. 売る
4. 静かだ
5. 小説
6. 書く
7. 芥川賞あくたがわ
8. ボールペン

【体言】

【用言】

## 【第四問】

各文中の――部は「連用修飾語」か「連体修飾語」である。その右側に、連用修飾語なら「連用」、連体修飾語なら「連体」と書き入れなさい。

(1) 友人の小さなハリネズミはすごくかわいい。

(2) 先生は難しい問題をスマートに解説する。

(3) 先生は大きな土器を控えめに自慢する。